

# ちわい

2013

彼岸号

VOL.137

浄土宗西山深草派宗務所

総本山 誓願寺

## ◆ 目次 ◆

- 慈光〈第23回〉
- 賢問子行状記⑦
- お釈迦さまのご生涯 10
- 宮城県石巻市現地見舞研修
- インド **ボタボタ** 夫婦道中記 ③1
- 総本山誓願寺だより
- 何でも、お寺探偵団 Vol. 35
- 賀森山豊光院 高雲寺

當麻曼荼羅完成 1250 年記念

# 當麻寺

特別展

— 極楽浄土へのあこがれ —

2013.4.6[土]—6.2[日]

【主催】奈良国立博物館、當麻寺、読売新聞社 【後援】奈良県、葛城市

たいまでら

奈良国立博物館  
Nara National Museum

〒630-8213 奈良市登大路町50 (奈良公園内) NTTハローダイヤル 050-5542-8600

重要文化財「當麻曼荼羅(文龜本)」部分(當麻寺) 一部等外複製公開。期間中、展示替えがあります。

◆ 奈良国立博物館 特別展「当麻寺」 ◆

## 慈光

23

「慈光」。万物を育成し世に恵みを与える光。大慈悲の光明。阿彌陀さまの分け隔てのない暖かい優しい光。私たちはこの光を頂き、生かさせていただいております。慈光に照らされた私たちの生活を今一度考えてはどうでしょうか？ タイトルの『慈光』は、鈴木皓道先生のお寺本宿町「慈光院」より拝しました。

## 【啐啄（親子の交流）】

啐さいとは、真鴨が卵から孵かえるおり、殻を中よりつついて這はい出し、親を捜し求めること。

啄たくとは、親鳥が外から卵を嘴くちばしでつついて、「ここだここだ」と雛ひなに知らせること。

啐啄、洵まことに神秘的な親子の交流です。

人間の乳幼児が母に抱かれて、足でトントンと調子を取りながら

「目で母の顔を」

「耳で母の声を」

「鼻で母の匂いを」

「肌で母の感触を」

「体で母の温もりを」：

母子ともに最高に幸せな時であり、もつとも神秘的な人間の心の交流です。ところがこの頃の人間はどうでしょう。子どもを傷つけ、虐待しておきながら反省の心は少しもない母。乳幼児は親に向かって反抗は出来ぬのです。

歳月を重ねる内に、子どもにも個性が芽生え、親の感情の変化が重なり合い、親子関係にも隙間が生じて争いが絶えなくなり、ひどければ断絶となることでしょう。

それを留めるのが信仰

の生活です。

私どもが、先手かけての阿彌陀さまの「お心」を戴くと「柔らかい心」になる。とお経さまには説かれてあります。

合掌、念佛の生活は、私どもの固まった心を柔らかに、汚れた心を清くして下さるのです。私どもの心を佛さまが補って下さるのです。

どうか皆さま方、合掌、念佛の生活をして、柔らかい心で親子、家族と心の交流をして下さい。

布教講習所 所長  
慈光院 住職 鈴木 皓道



# 賢問子行状記

けん むん し ぎょうじょう き

7

小島英裕

## 第四話

唐にて

賢問子の子が出生

(後編)

を出し「あなたが大きくなったら、これを父と思って一人前の仏師となるようにと残された大切な宝です」と告げました。

子は「これは父ではない。父に会いたい」と嘆きました。

母に孝行を尽くし、十一歳になったある時「死に別れたなら父に会えないことも分かります。生きているのなら、たとえ日本や天竺てんしくだろうとも会いに行きたい。私に休暇をください。父を、この国に連れて帰り、親子三人で暮したい」と母に言いました。

役所へ行き、「賢問子の子です。

私を日本へ渡してください。父に会い、仏師の技術を学び、唐のために役立ちたい」と願いました。役人は「幼年であるが皇帝と会うがよい」と許しました。

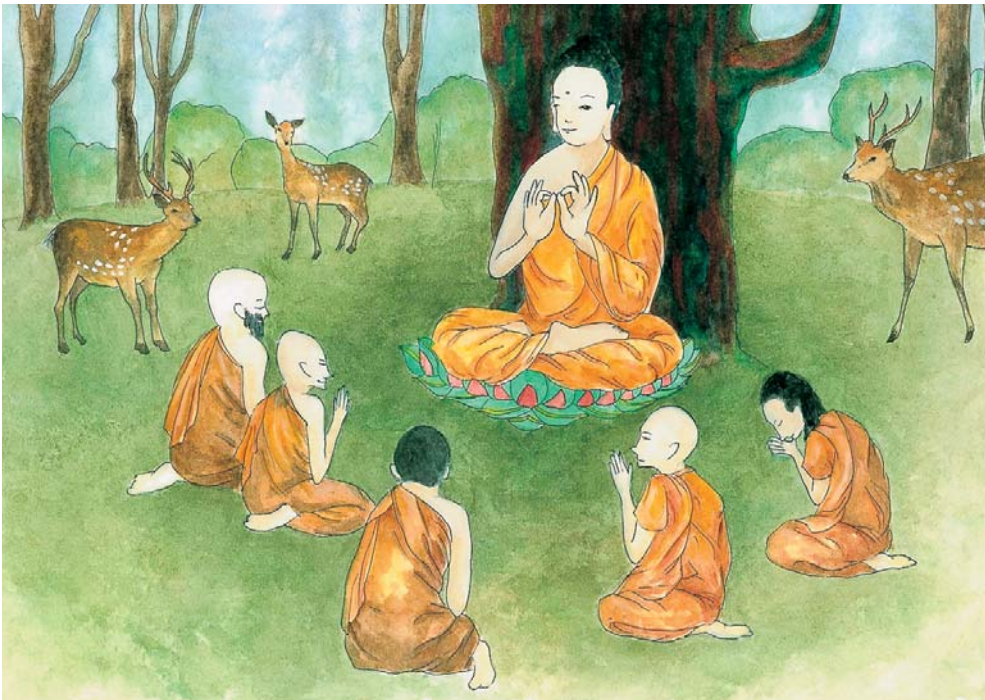
皇帝は「幼き者よ、母と別れて日本へ渡り、仏師の技術を得て、我が国のために尽くすとは素晴らしい。日本は粟散国ぞくさんこくと言い、粟あわを散らしたような小国である。大国の唐より小国へ渡る者であるから、そなたの名を芥子国けしこくと名付ける」と命令を出しました。

家に帰ると、母は「芥子国よ、父が残した一番の宝、この鑿ので父と対面するのです」。

その言葉を胸に芥子国は長い旅に出発しました。母は声を上げて嘆きつつ見送りました。(つづく)

賢問子の子は話しが出来るようになり、ある時、母に「私の父はいったいどこにいるの。会わせて欲しい」と泣きました。

柳営女りゅうえいによは「父は日本の人です。不思議なご縁で、皇帝の命により夫婦になりました。ところがあなたがお腹の中で五カ月のとき、老いた母親が待つ日本に帰ったので」と語り、錦の袋より一丁の鑿の



初転法輪

# お釈迦さまのご生涯 10

文・釈尊法話会 絵・豆田 織奈

## 初転法輪

五人の修行者に縁起の理法を説こうと決めたお釈迦さまは、バーナラーシー（現在のベナレス）の鹿野苑に向かいました。途中、アー जी ヴィカ教徒であるウパカという修行者に会いました。ウパカはお釈迦さまの立派なお姿を見て尋ねました。

「貴方のお姿は大変ご立派です。どのお方を師匠とされてご出家なされたのですか」

お釈迦さまは答えました。

「私は誰も師としてはいません。自ら覚ったのです」

ウパカは、

「はあ、そうですか。それはよかったですね」

と皮肉を言い、お釈迦さまの話をそれ以上は聞かずにその場を立ち去りました。

ウパカと別れた後、お釈迦さまは鹿野苑に向かいました。お釈迦さまが鹿野苑に近付いて来たのを見た五人の修行者は、各々言いました。

「ゴータマは苦行を辞めた輩だ。絶対に挨拶はしてはならんぞ。立って出迎えてはならんぞ。衣鉢を受け取ってはならんぞ。席を設けてはならんぞ」

しかし、お釈迦さまがやって来ると、その立派なお姿に五人の修行者は、自分たちの約束を忘れて、挨拶をし、出迎え、衣鉢を受け取り、席を設けてしまいました。

五人の修行者が用意した席に座ったお釈迦さまは、彼らに自らが覚った縁起の理法を語り始めました。また人間の苦しみの原因は何であるのか、覺りに至る道はどこにあるのかという四つの真理（四諦説）も語られたのです。お釈迦さまのご説法に耳を傾けた五人の修行者は、縁起の理法や四つの真理を理解し、お釈迦さまの弟子となったのです。この時、仏教教団が誕生しました。

後に、お釈迦さまが初めてお説法なされたこの出来事を「初転法輪」と言われるようになりました。



## 宮城県石巻市 現地見舞研修

浄土宗西山深草派青年会  
有志は、二月六日・七日の  
二日間、宮城県石巻市を中  
心に、震災復興の現状をお  
見舞いしました。この研修  
の目的は、宗教者が仮設住  
宅の集会所で、お茶とケー  
キでおもてなしをしながら  
話を聴く「カフェ・デ・モ  
ンク」の活動に参加するこ  
とでした。

震災復興の現状は、いま  
だ市内いたる所に震災の傷  
跡が色濃く残り、現地と  
我々の認識の違いを痛感さ  
せられました。さらに、石  
巻市立大川小学校や女川町  
の惨状を目の当たりにした  
際には、胸が潰れる念を禁  
じ得ませんでした。

「カフェ・デ・モンク」を  
通して、被災された方々と接  
してみても、苦しみや悲しみを  
心に秘めつつも、勤めて明る

く前向きに生活されている  
姿には、逆に、我々が元氣  
や勇気を頂けたようで、大  
変感銘を受けました。

中でも最も印象深かった  
ことは、寺院や僧侶、その  
他の宗教者の活動です。被  
災者の方々に時には寄り添  
い、時には先頭に立って、  
自らの役割に精一杯取り組  
んでおられるその姿には、  
寺院や僧侶のあるべき姿を  
見るようでした。

今回の研修において、被  
災地に対する長期的・継続  
的な支援の必要性を実感し  
ました。時間の経過に伴っ  
て、記憶は薄れがちではあ  
りますが、事あるごとに思  
い返して、自分ができるこ  
とを考え実行していきたい  
と思います。

（青年会 田中宗龍）



現地のお寺さまの話を聴く



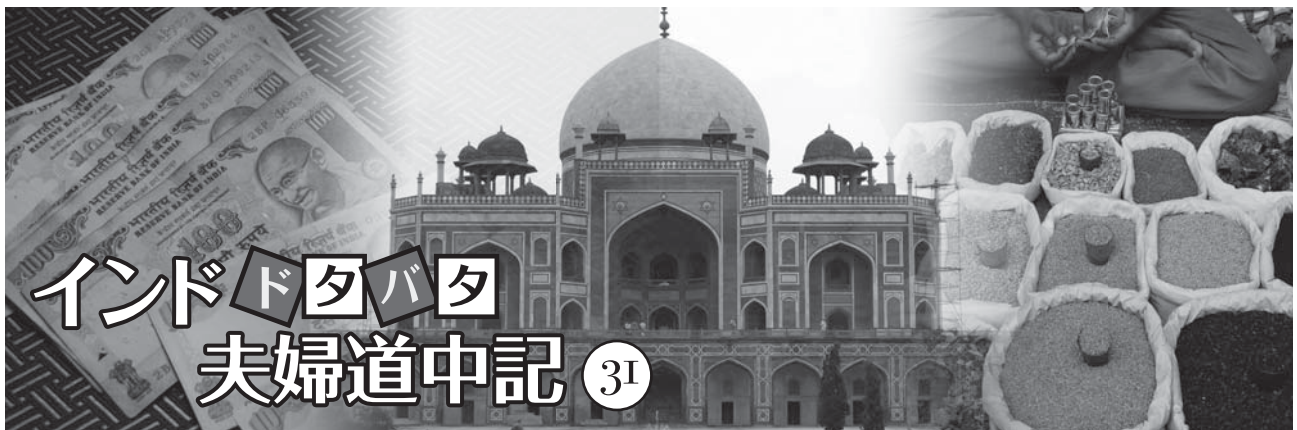
女川町被災状況



追悼



大川小学校



## 同じ町で違う世界が…

アウランガーバードで二泊し、翌二月二十五日（月）早朝六時前に起床した。

ガンジス川のほとりにあるヒンドゥー教の有名な聖地バラナシに行くために、素早く身支度をし、セントラル・バススタンドに向かった。前日、エローラ観光バスツアーから戻った時に、そこで予めジャルガオンへの効率の良い行き方と出発時刻を聞いておいたのだ。またカジュラホーで泊まったホテルの社長のティワリさんがメモしてくれた紙にも車での移動が勧めとなっていた。お目当ての乗り合いタクシーの乗り場は、切符売り場や売店がある建物の東側の表通りに面した方にあり、前日利用したバスの発着場は奥の西側にある。

暫く待っていると一台の白い四輪駆動車が入ってきた。どうやらアジャンタ村で乗った乗り合いタクシーと同じ型の車である。窮屈な思いもせ

ず、六時四十五分に出発し、途中二、三カ所で客を降ろしたり乗せたりして、順調に幹線道路を走った。

小一時間ほど走った辺りで、突然「パーン！」と爆発音が聞こえ、体に振動を覚えたのだ。と同時に車は路肩に寄って停車した。パンクである。乗客全員が車外に出ると、助手らしき男が、手際よくスペアタイヤを出し、ジャッキアップしてタイヤの交換を始めた。僕はカメラを片手に、広々とした田舎の日の出の景色を眺めてシャッターを切った。

ちよつとして車の周りを回って見たら、まあよく使われたタイヤに驚いた。さらに肝心のスペアタイヤまでもがすり減っている。スペアタイヤがパンクしたら次はどうするのだろうか、一抹の不安を感じたが、その後は何事もなく、ジャルガオンのバススタンドに九時四十五分に到着した。一五〇キロメートル弱の一般道を三時間で走ったのだから、トラブルがあった割

には結構速く走ったものだ。

お金が少なくなり銀行を探し廻ってやつとの事で見つけたが、TC（トラヴェラーズ・チェック）の発行会社が違うという理由で断られてしまった。換金を諦め駅に向かっ歩き、バラナシへの切符を買ってから駅前の大衆食堂に入った。

このジャルガオンは八九年に来た町で、駅のリタイアリング・ルームで一泊したのに、記憶にはない全く違う風景に、僕は戸惑っていた。思い起こせば以前は駅の北側を歩いており、今回は駅の南側を歩き回り、まるで違う町に居るような錯覚に陥っていたのだ。



パンク修理中の乗り合いタクシー



## 表紙の解説

## —奈良国立博物館 特別展「当麻寺」—のお知らせ



天平宝字7年(763)に織られた奈良当麻寺の本尊「当麻曼荼羅」は、極楽浄土の世界をあらわした約4m四方の綴れ織です。

西山流祖證空上人は、この図を浄土宗の教えの真髓と仰がれ、転写と流布に努められました。

今年は、当麻曼荼羅がこの世に現れて1250年の節目に当たります。これを記念して、奈良国立博物館で特別展が開催されることとなりました。30年ぶりに公開される国宝根本曼荼羅を拝観できる希少な機会です。ぜひお出かけください。(期間中、展示替えがありますのでご注意ください)

## 総本山誓願寺だより

## ◆おもな行事予定

三月

●十四日(木)

善導忌・六阿弥陀功德日

●十七日(日)~二十三日(土)

春彼岸

●二十六日(火)~四月四日(木)

法脈相承

四月

●六日(土)

花まつり

●十五日(月)

六阿弥陀功德日

●二十三日(火)~二十五日(木)

元祖法然上人御忌法要

五月

●十八日(土)

六阿弥陀功德日

六月

●九日(日)

和泉式部忌

●十九日(水)

六阿弥陀功德日

七月

●十四日(日)

六阿弥陀功德日

八月

●十五日(木)

六阿弥陀功德日

## クイズコーナー

## 【問題】

賢問子と柳宮女の子が皇帝からいただいた名前は、何でしょう？漢字3文字でお答え下さい。

〇〇国

官製はがきに、答えと郵便番号、住所、氏名、菩提寺(だんな寺)、感想や質問を必ず書いて送ってください。その中より紙面に採用させて頂くことがあります。掲載時には、ハガキにてご本人にご連絡致します。名前の掲載の困る方は、その時にご返事下さい。今回は、高雲寺さまより数珠の腕輪を5名さま、本山謹製線香を5名の方に、合計10名の方に抽選にて差し上げます。ご応募お待ちしております。

## 【宛先】〒444-1353

岡崎市藤川町字中町南十五

稱名寺内 ちかい編集係

答え 〇〇〇〇  
郵便番号  
住所  
氏名  
菩提寺(だんな寺)  
感想・質問等

【締切】五月十日

(消印有効)

ちかい 第137号

発行日 平成二十五年三月五日  
発行所 浄土宗西山深草派  
総本山誓願寺

京都市中京区新京極桜之町四五三番地  
電話 (〇七五) 二二二一〇九五八  
FAX (〇七五) 二二二一〇一九  
E-mail info@fukakusa.or.jp  
URL http://www.fukakusa.or.jp/

何でも

## お寺探偵団

こううんじ  
高雲寺

Vol.35



いしはら りょうせい  
石原庸隆師 (高雲寺 第27世)  
1935年生まれ (77歳)

愛知芸術大学修了 龍谷大学国文科卒業  
愛知県立高校教員(県教委派遣海外研修) 民生委員 人権擁護委員 よろず相談員 愛知県立蒲郡高校創立百周年記念実行委員長(平成24年11月) 蒲郡相撲甚句会会長

Q1

お寺の由来を  
教えてください。

平安時代後期に大和より僧が来て草庵を結び、薬師仏を信奉。その後も連綿と続き、応永年間に禅居という僧が伝統を引き継ぎました。その後、文亀2年(1502)に河内から来た暢賢

Q2

お寺の宝物は  
何ですか？

「応永13年(1406)三州上戸・禅居寺公用」の刻銘のある蒲郡市指定の文化財があります。もう1点、平安時代後期(1150年頃)の作と推定される薬師如来の破損仏(像高24cm・木造)が1軀(東京博物館鑑定)があります。とても神々しい尊像だと思っています。

という僧が堂宇を小山(現在の地)に建立し、高雲庵と名づけ開山としたと寺伝にあります。そして、天明5年(1786)刈谷市に建立された本堂を、文久2年(1862)に当山に移築しました。それを改築して平成11年に現在の本堂を落成しました。年輪を経た柱・格天井などの重厚さからは敵かな赴きと、木の香りで堂内は不思議な緊迫感があり、自然と仏心に包まれます。

Q4

「座右の銘」は  
何ですか？

他に「蒲郡名木50選」に選ばれています大イチョウ。根回り4.14mで実もなり、晩秋には見事に黄葉を見せます。「その時、その場で精一杯」がモットーです。

海外研修でギリシャのアテネの高校で、懇談会の時に仏教の話が出て、「ナムアミダブツ」を解説したことを覚えています。通訳が困惑するほど口角泡を飛ばす勢いで話し、喜ばれたことが心に残っています。

住職歴54年、定時制教員と法務の二足鞋、西山三派仏蹟参拝全行程ほぼ参加、退職後の公職にも精を出しました。本堂・鐘楼・庫裏等の完工など、努力をして参りました。

それらは檀信徒をはじめ周囲からいただいたパワーです。それに感謝するのみです。



平安後期作の薬師仏

## 【交通】

JR「三河三谷」駅下車 北へ徒歩15分

## 【主な行事】

善光寺如来七草会 2月第1日曜日  
春彼岸会 彼岸中の日曜日  
弘法大師会 旧3月21日  
開山忌会 6月第1日曜日  
施餓鬼会 8月8日  
薬師会 11月11日  
西山忌会 12月第1日曜日  
除夜の鐘 12月31日  
相撲甚句会 毎月第2土曜日

## 【お問い合わせ】

高雲寺 〒443-0011  
愛知県蒲郡市豊岡町長田7  
TEL 0533-67-5971



◀ 蒲郡50選の大イチョウ



◀ 本堂

昨年末、石原ご住職は今回の取材の直後に急逝されました。

お寺と校長先生の重責を両立されたエネルギーな方でしたので、にわかには信じられない思いです。張りのあるお声の相撲甚句が、今も耳に残ります。心よりお十念を捧げます。



◀ 三州上戸 禅居寺公